議　会　を　も　っ　と　身　近　な　も　の　に

ながとろ町 議会だより

No.19

令和３年
９月定例会

11月1日発行

今号の表紙

そばの街ながとろの原風景（長瀞駅付近）

遊休農地を活用したそばづくりは、景観を美しくするだけでなく“美味しい”にもつながります（A.T）

［長瀞町議会HP］
http://www.town.nagatoro.saitama.jp/gikai/gikai_photo/

次回定例会は
12月10日(金)9時 開会予定です。

定例会及び臨時会における本会議を、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、会議の当日、庁舎４階に設置された受付場所にて、氏名、住所などを受付票に記入し、議場へご入場ください。
※当日検温をして、マスク着用でご来場ください。

今号の主な内容

- 新型コロナ対応重視の決算
- 条例・補正予算・意見書
- 町政を問う ～ 一般質問 ～
- みんなの広場「ワクチン接種会場でインタビュー」

令和3年9月定例会

令和２年度 一般会計・特別会計決算を認定

新型コロナ対応 重視の決算

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、国から特別定額給付金のほか、感染症対策や地域経済対策などに用いる交付金が多く交付され、国庫支出金は令和元年度と比べ約3.5倍になるなど、例年とは違った決算となりました。

抜粋してお知らせします

決算に関して、多くの質疑がありました

マスコットキャラクターの予算について

Q マスコットキャラクター業務委託料は執行されなかったはずだが、この予算はその後どうしたのか。

A 418万円の予算は、３月議会で予算を補正しているので、支出や翌年度に繰り越すことはしていません。

個人番号カードについて

Q 個人番号カードの取得者数はいかほどか。

A ９月現在、町人口は6,780人、申請数が2,080件（30.6%）で、交付数は1,812件（26.7%）となっています。

農業振興費の不用額について

Q 農業振興費の不用額が多額であるが、その理由は何か。

A 不用額の内訳は、補助金の未執行によるもので、性質上年度末までの申請がありうるため、減額できなかったものです。

町民プールの土地について

Q 現在利用していない町民プールの土地は、いつまで借りる予定なのか。

A 平成17年にプールとしての利用を休止してから、中学校のグラウンドに砂ぼこりが立たないように、散水のための水として利用しています。再度プールとして利用できる見込みがないことから、今のところはできる限り経費をかけずに活用することを考えています。

妊娠届出数について

Q 妊娠届出数が29人となっているが、出生数もこれでよいのか。

A 出生数も29人となっています。

表彰に係る補助金について

Q 元気もりもり体操が、県に表彰されて補助金をもらったと思うが、決算上どこに入っているのか。

A 国民健康保険特別会計の県支出金の中に歳入されています。

学校給食費の収入未済額について

Q 学校給食費に収入未済額があるが、どのような対応をとっているのか。

A 税金の滞納がある方が給食費も滞納されることがあるので、税の徴収と連携しながら督促を進めたいと考えています。また、分納するようにしてもらっているので、少しずつ減っていくように努力しています。

令和２年度 一般会計・特別会計決算額

会計名	決算額		歳入歳出差引額
一般会計	歳入	42億3,783万1,107円	1億7,179万7,128円
	歳出	40億6,603万3,979円	
国民健康保険特別会計	歳入	7億7,269万4,121円	4,498万2,421円
	歳出	7億2,771万1,700円	
介護保険特別会計	歳入	7億5,418万8,583円	2,237万2,233円
	歳出	7億3,181万6,350円	
後期高齢者医療特別会計	歳入	1億792万1,670円	46万3,449円
	歳出	1億745万8,221円	

町道の標識と停止線等について

Q町道で、停止の標識がないまたは停止線や止まれの文字が消えかけている危険箇所が見受けられる。そうしたところの手当はできるのか。

A停止の標識は警察で設置することになっているので、町では設置していません。また、停止線は町で引くことができますので、巡回したときに必要な箇所には引くようにしたいと考えています。

＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

反対討論

▼村田徹也…コロナ禍という特別な状況ではあったが、自主財源の確保が進まず、総務費の比率が高く、民生費や衛生費などの比率が低下し、町民の安心・安全の源となる扶助費がおろそかな決算結果と見受けられるので反対する。

賛成討論

▼新井利朗…国からの臨時交付金が出て、感染症対策として何をしたらいいのか戸惑ったこともあったと思う。経済活動にも配慮しなければならない状況でもあった中で、諸問題もあると思うが、結果を出したと思うので賛成する。

新型コロナウイルス感染症対策国庫支出金を活用した主な事業

事業名	金額
特別臨時給付金事業	7億281万8,000円
「誘客多角化等の魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業	2,000万円
子育て世帯家計負担支援給付金事業	857万6,000円
中小企業・個人事業種支援金、生活支援臨時給付金事業	1,031万4,000円
町内需要喚起推進事業	576万3,000円
観光復興支援事業	1,861万2,000円
避難所における新型コロナウイルス感染症対策事業	1,444万5,000円
町立学校感染症対策・学習保障支援事業	598万4,000円
学校給食施設維持管理事業（うち保護者負担分の無償化）	1,341万5,000円

条例案、補正予算案、意見書案などを可決しました

条例の制定

長瀞町町長等の給与の特例に関する条例

厳しい財政状況を考慮して、町長、副町長及び教育長の給料月額を減額するためのもので、原案どおり可決しました。

役職	減額率	減額後の給料月額
町　長	20%	56 万円
副町長	10%	49 万 5,000 円
教育長	15%	45 万 9,000 円

〔 主な質疑 〕

Q減額を行うことで幾らほどの影響が出るのか。

A令和７年の町長の任期まで三役合計で計算しますと、1,266万5,336円の影響額となります。

令和３年度 一般会計補正予算（第５号）

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充てる事業などです。

○デジタル簡易無線個別受信機整備事業
（2,301万8,000円）

高齢者のみの世帯等で希望する方に、デジタル簡易無線の個別受信機を貸与することで、防災行政無線から発出する新型コロナウイルスや災害時の避難情報等を速やかに伝達する。

○就業改善センター空調設備改修工事
（239万7,000円）

保健センター２階の就業改善センターの空調設備を換気機能付きのものに更新する。

○公立学校情報機器整備事業
（211万2,000円）

臨時休業時等の家庭学習に備えて、タブレットの急速充電器を整備する。

○中央公民館図書室パワーアップ事業
（424万7,000円）

図書室の蔵書を増やすと共に、図書システムを導入し、貸出しと返却時間を短縮する。

〔 主な質疑 〕

Q個別受信機は何台購入するのか。

A1,000台を予定しています。

Q急速充電器は、児童生徒全員分を購入するのか。

A全員分を整備します。

中央公民館 図書室

会計別 補正予算額一覧

会計名	補正額	予算総額
一般会計（５号）	３億 702 万７千円	34 億 7,201 万８千円
国民健康保険特別会計（１号）	2,037 万７千円	６億 3,430 万３千円
介護保険特別会計（１号）	1,143 万３千円	７億 7,382 万９千円
後期高齢者医療特別会計（１号）	９万３千円	１億 1,027 万円

国会・関係省庁へ意見書を提出

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を求める意見書

コロナ禍において税収入が低下するなか、地方公共団体の行財政運営が立ち行かなくなることが心配されることから、国においては措置を講じるよう、国会のほか、内閣総理大臣等の関係機関に意見書を送付しました。

第６次エネルギー基本計画の改定を求める意見書

６月定例会で経済観光常任委員会へ付託されていた陳情が採択されたことから、経済産業省、環境省等関係省庁へ意見書を送付しました。

人　　事

長瀞町固定資産評価員の選任
林（はやし）　宜子（のりこ） 氏（65 歳・辻区）

長瀞町教育委員会委員の任命
工藤（くどう）ちはる 氏（56 歳・井戸上郷区）

人権擁護委員候補者の推薦
山﨑（やまざき） 智子（ともこ） 氏（68 歳・下山区）

そ の 他

工事請負契約の締結について

緑の村の野外運動施設等（流水プール）を取り壊し地権者に返還するに当たり、行田市の関東建設興業株式会社と工事の請負契約を締結することについて、議会の議決を求められ、可決しました。

お知らせします 審議した議案と議員の賛否		審議結果	村田光正	板谷定美	井上悟史	野原隆男	村田徹也	野口健二	大島瑠美子	新井利朗	染野光谷
第４回定例会（9月14・15日）											
令和２年度決算	一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	－	○	○	×	○	○	○	○
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	－	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	－	○	○	○	○	○	○	○
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	－	○	○	○	○	○	○	○
令和３年度補正予算	一般会計（第５号）	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険特別会計（第１号）	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険特別会計（第１号）	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○
	後期高齢者医療特別会計（第１号）	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○
条例	町長等の給与の特例に関する条例	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○
	手数料徴収条例の一部改正	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○
	指定密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○
そ の 他	工事請負契約の締結	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○
人事	固定資産評価員の選任	同意	○	－	○	○	○	○	○	○	○
	教育委員会委員の任命	同意	○	－	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員候補者の推薦	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○
陳情	自治体から国へ意見書提出を要望する陳情書	採択	○	－	○	○	○	○	○	○	○
意見書	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を求める意見書	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○
	第６次エネルギー基本計画の改定を求める意見書	可決	○	－	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成　×：反対　－：議長は採決には加わらず、賛否同数の場合のみ議長裁決として表明します

村田徹也（むらたてつや）議員

選挙公約の実現について

〔町長〕８年の実績を踏まえ、町民目線の行政運営を行う

Q町長が掲げた公約と事項について伺う。

ワクチンの接種状況と新型コロナを見据えた町政運営について。

A現在、12歳以上の町民の50%が２回目の接種を終えました。今後も秩父郡市医師会と協力し、希望者にスムーズな接種ができるように進めていきます。また、コロナ以後を見据え、「ブランディング事業」などに取り組み、町の活性化を図っていきます。

Q今後の小中学校のあり方について。

A学校のあり方検討委員会において、児童生徒にとって、より良い教育環境を検討しているところです。この後の答申を基に、町の方針を迅速に決定していきます。

Q高齢者が安心して暮らせる町の構築について。

Aこれまで進めてきた「元気モリモリ体操」を軸として、健康事業と介護予防の一体的な実施や、生活支援体制整備事業をしっかり進めていきます。

Q先を見据えた観光施策について。

A令和２年３月に策定した「長瀞町観光振興計画」の重点施策を中心に進めていきます。

新井利朗（あらいとしろう）議員

選挙運動公営制度の導入効果について

〔総務課長〕議員のなり手不足解消に必要な制度

Q選挙運動公営制度が導入されて、初めて町の選挙が行われましたが、利用実績について伺う。また、どのような問題点や課題があったかを伺う。

A当町では、7月4日執行の町長選挙と町議会議員補欠選挙が、選挙運動公営制度が利用された初めての選挙でした。この制度は、候補者にとってお金のかからない選挙を実現するとともに、候補者間の選挙運動の機会均等を図ることを目的として、一定の範囲内で町が候補者の選挙運動費用を負担する制度です。利用実績については、町長選挙は候補者2名のうち1名が利用され41万4,786円、町議会議員補欠選挙は候補者1名が利用され36万7,042円の公費負担を行いました。本制度の導入に伴い、町議会議員の立候補の際に供託金制度が導入されるなど、ハードルが高くなったとの見方もできるかもしれませんが、なり手不足を解消するための制度とはいえ、売名等を目的とした候補者の乱立を防ぐために、必要な制度であると認識しています。

【その他の質問】

・町長３期目の重点施策について

・緑の村の跡地利用について

野原隆男（のはらたかお）議員

蓬莱島公園の架橋整備について

〔建設課長〕職員でも移動可能な簡易的木橋の設置を考えている

Q令和元年の台風19号により、蓬莱島公園は甚大な被害を受けた。復旧は進んでいるが、現在も蓬莱島へ渡る橋は、木板の仮設橋となっている。台風シーズンを迎え川が増水した場合、仮設橋がふたたび流される可能性がありうる。

また、復旧はひとつの橋で十分と考えるが、今後の仮設整備について伺う。

A流された橋脚を復旧した上で、従来どおりの架橋整備をしても、想定外の大雨により、再び流れてしまう恐れもあることから、災害等の発生が予想される場合には、事前に職員でも橋を移動できる木材を組み合わせた程度の、簡易的な木橋の設置を考えています。なお、地域住民の要望により、橋は上流と下流の２箇所に設置する予定です。また、施工の時期は、県との協議が終了し次第、速やかに設置する予定です。

木板による現在の仮設橋

一般質問とは、行財政全般について執行機関の所信や疑義をただすものです。

野口健二（のぐちけんじ）議員

道路幅の狭い町道の整備について

〔町長〕町民の要望にできる限り応えていきたい

Q町道の中には、緊急車両も入れないような狭い町道があります。そうした町道は、できるだけ早期に整備すべきだと思うが、町の考えを伺う。

A緊急車両が入れないような狭い道路については、町でも把握しており、消防署にも情報提供をしながら、協議をしています。

なお、道路の狭い箇所については、事前に把握しておくことで、柔軟な対応が可能な場合もあると、消防署から聞いています。

今後も、定期的に道路を巡回することで、現場を検証するなどし、消防署との連携と情報の共有を図っていきたいと考えています。

また、町道の幅員を4メートル以上に拡幅することが、狭い町道の拡幅についての町の考え方ですので、政策的判断、地元の要望、緊急度等を総合的に判断した上で、整備箇所を決めさせていただきます。

今後は、町民の不安が少しでも解消され、できる限り町民の要望に沿えるよう、道路整備事業に努めていきます。

大島瑠美子（おおしまるみこ）議員

土砂災害の警戒区域について

〔総務課長〕土砂災害警戒区域に限らず周知啓発を図る

Q静岡県熱海市で大規模な土砂災害が起き、尊い命が多数失われた。当町は山間地なので、想定を上回る雨量があった場合には、同じようなことが起きないか心配である。災害対応ガイドブックには土砂災害警戒区域が示されているが、その区域の人に避難情報等が正確に伝わっているのか確認すべきと思うが、町の考えを伺う。

A災害対応ガイドブックを毎戸配布したほか、広報ながとろ7月号では、防災の特集ページの内容を新しく掲載していますが、実際にそうした情報が、土砂災害警戒区域に住んでいる全ての方に伝わっているか不安が残るところです。より正確に情報を伝えるのは避難行動をとる上で重要ですので、より良い方法を検討しながら、周知と啓発を図り、災害の発生の恐れのあるときは、逃げ遅れる者が出ないように努めます。

【その他の質問】

・ヤングケアラーの実態について
・新型コロナウイルスの対策について
・町税の滞納処分について

村田光正（むらたみつまさ）議員

郷土愛を育む学習の取組について

〔教育長〕郷土愛を感じる体験学習を引き続き行いたい

Q当町は豊かな自然だけでなく、ライン下りやラフティングなどの体験学習ができる環境が整っている。体験学習は児童生徒を対象として、郷土愛を育むにはよい機会だと思う。

こうしたことを学習に取り入れる考えはあるか。

A当町には体験学習ができる環境が整っていますので、児童生徒は恵まれた環境にあると考えています。

すでに取り入れている体験学習は、2年生生活科で岩畳商店街や宝登山神社への訪問、3年生社会科でぶどう園やスーパーなどの見学、6年生理科では、学芸員の解説をもとに岩畳・自然の博物館などの見学です。中学校では毎年3年生がライン下りを体験していますし、昨年度は2年生がラフティングを体験しました。

体験学習は地元の良さや、新しい魅力の発見につながるものと考えています。

【その他の質問】

・観光事業の広域連携について
・観光と農業の結びつきについて
・秩父地域おもてなし観光公社のあり方について

みんなの広場

新型コロナウイルスワクチンの接種会場でインタビュー！

１２歳以上の小・中・高校生を対象とした優先接種が始まったこともあって、９月２３日の秋分の日、集団接種会場の長瀞町保健センターで取材を行いました。

当日は、約１９０人の方がワクチン接種に訪れましたが、医師２人体制で、接種会場のスタッフの丁寧な案内もあって、待ち時間がほとんどなく、スムーズに接種できている印象を受けました。

年代別接種者数（９月２３日）

１０代	２６人	４０代	５１人
２０代	１３人	５０代	５２人
３０代	１８人	６０代以上	２７人

接種会場に訪れた方は…

「受験を控えているので、接種しようと思いました。コロナで普通の学校生活ができなくて残念です」（10代中学生：1回目）

「同年代の接種者が増えてきているのと、親の勧めもあって接種しようと思いました。副反応で発熱した場合は出席停止扱いです」（10代高校生：1回目）

「仕事に支障が出るので受けました。副反応で発熱するか心配です」（30代：2回目）

「勤め先で接種するように言われました。家族全員、接種が済みました」（40代：2回目）

「電車で長距離通勤しているので、受けようと思いました。休日に接種できて助かりました」（50代：2回目）

と、接種を受ける理由は様々で、今後の生活や副反応を心配する声が多かったように思います。

予約方法は、LINEの方が多かったようです。コールセンターの方もいらっしゃいましたが、「1日かかった」「100回くらいかけてやっと通じた」など、大変苦労したようでした。

取材にご協力いただいた接種者の方々、接種会場スタッフの皆様、ありがとうございました！

ながとろ町
議会だより No.19
令和３年９月定例会／11月1日発行
発行：埼玉県長瀞町議会

編集：長瀞町議会だより編集委員会
委員長：大島 瑠美子　副委員長：新井 利朗・井上 悟史
委　員：染野 光谷・野口 健二・村田 徹也

編集後記 昨年から今年にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で緊急事態宣言が繰り返し発出され、外出が制限されるなど、ストレスの多い生活でした。ワクチン接種がある程度進み感染者数も減ってきましたが、終息まで気を抜かず、３密を避け、基本対策をいたしましょう。（新井利朗）

お問い合わせ　長瀞町議会事務局　〒369-1392 埼玉県秩父郡長瀞町大字本野上1035番地1　TEL 0494-66-3111　FAX 0494-66-0894